



10万人のセールスマン作戦

—市民が創る千歳のまち—

第5弾



これまで4回にわたってお伝えしてきた「10万人のセールスマン作戦」。今月は、その第5弾として、千歳の魅力の中から「空・陸・海にまたがる交通アクセス」と「自然災害の発生・被害が少ない地域」にスポットを当てます。

10万人のセールスマン作戦とは？

千歳市の人口は、現在、9万5000人を超えており、年間の異動者数は5000人以上になります。

また、たくさんの方が市内の企業や学校などに通勤・通学しているため、市の昼間人口は、夜間人口に比べるると4.7パーセント多くなっています。市では、市民の方々ははじめ、千歳で働いている方、学んでいる方、千歳の魅力を知っている全国各地に異動した千歳市民OBの方など、10万人の方々が千歳のまちを売り込む作戦を行っています。これが10万人のセールスマン作戦です。

千歳市は、交通アクセスに優れ、自然災害のリスクが少ないなど、さまざまな魅力があります。

空・陸・海にまたがる交通アクセス

北海道の空の玄関口・新千歳空港をはじめ、道央圏の大動脈・国道36号などの他、3つの高速道路のインターチェンジが設置され、苫小牧港まで近距離にあり、空・陸・海にまたがる交通アクセスは、人の移動だけでなく、原材料、製品、部品などの搬送に優れたまちです。

自然災害のリスクが少ない

地震、台風、落雷、積雪、津波、塩害など、自然災害の発生や被害が少なく、生産設備の安全や安定性の確保、建物のメンテナンスにも優位性を発揮しており、災害のリスク分散に最適なまちです。

優秀人材の確保

「光」をテーマに科学を幅広く学ぶ、千歳科学技術大学が立地し、近隣の市にも大学や専修学校などが集中しており、専門知識を修得した優秀な人材の確保が容易なまちです。

良質で豊富な水

食品や飲料などの他、電子部品の製造には欠かせない、良質で豊富な水のあるまちです。

農業のまち

白菜、キャベツなどの生産や酪農、養鶏などの畜産が盛んです。現在、地元農畜産物の高付加価値化や地域ブランドの確立に取り組んでいる、石狩管内随一の農業のまちです。

ワンストップサービスなどのサポート体制

低廉な産業用地の提供、土地のリースや空き工場の紹介、初期投資を軽減する制度、市や北海道などによる助成金優遇措置の利用など、ワンストップサービスによる細やかなサポート体制を整えているまちです。

空・陸・海

にまたがる交通アクセス

千歳市は、国際線ターミナルを備えた新千歳空港をはじめ、北海道の東西（横断自動車道）と南北（縦貫自動車道）を結ぶ2つの高速道路の結節点となる交通の要衝であり、苫小牧港に近距離のため、「空・陸・海」が有機的に結びつく北海道の一大交通拠点です。また、札幌市にも近い道央圏の中核都市として、全道各地との原料調達・製品輸送に不可欠な交通網が完備されているまちです。

陸 道路・鉄路

千歳市は、北海道横断自動車道と北海道縦貫自動車道の結節点に位置し、札幌・室蘭などを結ぶ国道36号などが通り、道内各地を結ぶ交通の要衝です。

また、鉄路に目を向けると、国内でも有数の貨物取扱駅である札幌貨物ターミナル駅には、自動車で約30分の近距離にあります。特に東京・札幌間のコンテナ列車は、翌日配達体制を確立しています。

新千歳空港の国内線就航便数

路線	便数(往復)	路線	便数(往復)	路線	便数(往復)
羽田	54	根室中標津	3	信州まつもと	1
成田	18	稚内	2	小松	1
伊丹	10	青森	5	茨城	1
関西	14	いわて花巻	4	静岡	2
神戸	5	秋田	5	岡山	1
中部	14	仙台	14	広島	2
函館	2	福島	1	福岡	5
釧路	3	新潟	2	那覇	1
女満別	7	富山	1		

※航空各社のホームページから（平成27年4月現在）。

鉄道貨物輸送時間と便数

都市	所要時間	一日の便数
東京	17時間53分	5便
仙台	15時間40分	1便
名古屋	27時間05分	3便
金沢	25時間15分	1便
大阪	28時間36分	1便
広島	42時間07分	1便
高松	39時間19分	1便
福岡	37時間59分	1便

※JR貨物のホームページから。

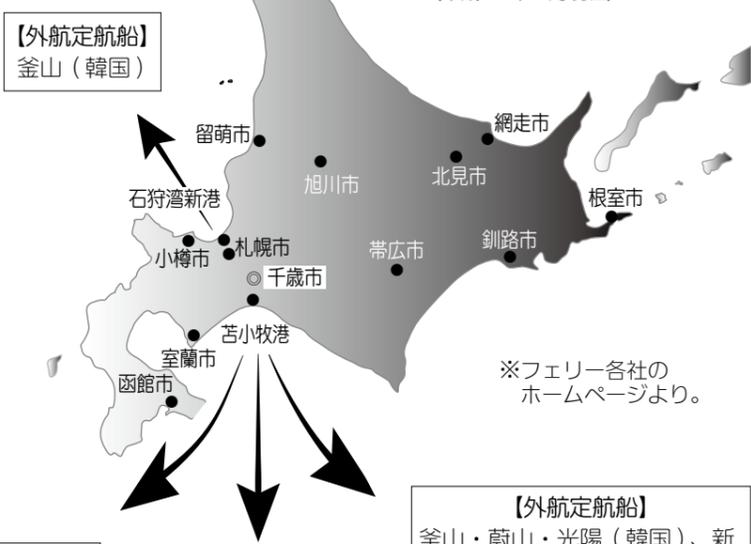
空 新千歳空港

新千歳空港には、国内26路線、海外11路線が就航し、新千歳〜羽田間は1日54往復、所要時間約90分で運航（単純には、7時から21時台まで、約15分に1便が運航）しています。この他に、新規路線の季節運航、LCCや海外チャーター便の運航も増えています。

主要道路図



苫小牧港就航先 (平成27年3月現在)



【外航定航船】釜山（韓国）

※フェリー各社のホームページより。

【外航定航船】釜山・蔚山・光陽（韓国）、新港・大連・青島・寧波・連雲・上海（中国）、バンクーバー・シアトル（北米）、ポストチナイ・ウラジオストク（ロシア）

【フェリー航路】八戸、仙台、大洗、名古屋、秋田、新潟、敦賀

海 苫小牧港

全国の主要な港や海外の定期貨物輸送が可能となる国際拠点港湾、苫小牧港までは千歳市内から自動車で約30分の距離にあります。

苫小牧港は、国内RORO船（旅客を乗せないカーフェリー）や内貿コンテナ船（国内向けコンテナ船）の航路が13航路、外貿コンテナ船（国外向けコンテナ船）の航路が10航路、国内フェリー航路も4航路と充実しています。

【内航定航船】

釧路、室蘭、八戸、仙台、常陸那珂、東京、川崎、横浜、追浜、名古屋、敦賀、大阪、高松



自然災害

のリスクが少ない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災以降、多くの企業は防災への意識が高まり、災害のリスクを回避しながら事業の継続ができる取り組みを進めています。

千歳市は、地震はもとより、台風、落雷、積雪、津波、塩害など、自然災害の発生・被害が少ない地域です。

また、市内には一つの航空自衛隊基地と一つの陸上自衛隊駐屯地が所在しており、災害が発生した緊急時は、強力な救助・支援活動などが期待できます。

この他に、市では、災害を疑似体験することにより、防災の知識や災害発生時の行動などを学ぶことができるよう、市民参加による大規模な防災訓練を毎年行っています。

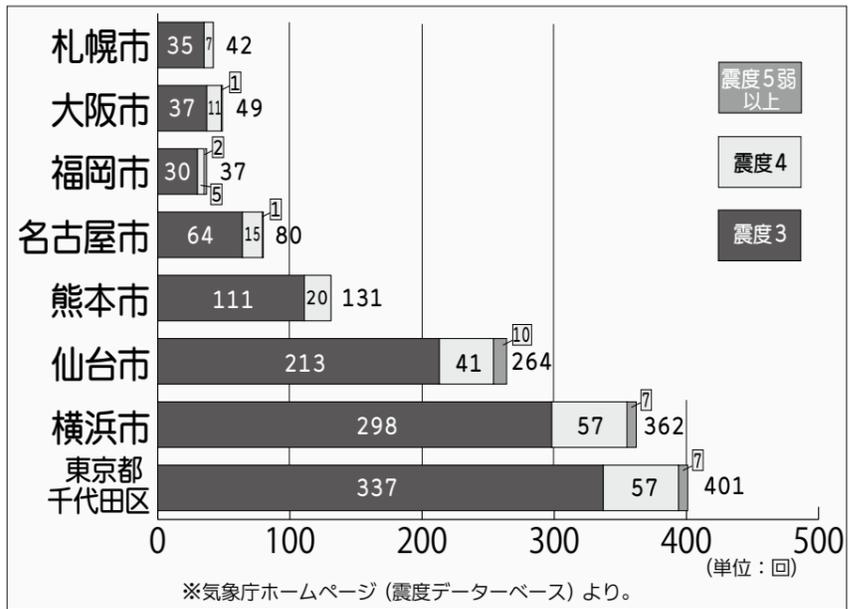
このように、千歳市は災害のリスクが少ないため、企業活動における「リスク分散」に最適なまちです。

地震

千歳市の位置する道央圏は、大正15年に地震観測が開始されて以来、震度5弱以上の地震は確認されておらず、道内外を含む他の地域と比べても、地震の発生が少ない地域です。

平成26年12月に文部科学省地震調査研究推進本部調査委員会が作成した「全国地震動予測地図」では、近隣の札幌市で今後30年間に震度6弱以上の地震が発生する確率は、最大0.9パーセント以下という予測がでており、千歳市は、地震に対して低リスクなまちです。

震度3以上の地震発生回数 (1926年1月～2014年12月)



防災訓練の様子

台風・落雷

気象庁が発表した、1981年から2010年までの全国各地の気象台で雷を観測した日の合計の30年平均値(下の表参照)によると、北海道は、雷の発生が全国的に見ても少なく、落雷によって電気系統に影響を受けるリスクが少ない地域です。

また、台風の過去30年間の平均接近回数は、本州や九州と比較しても少なく(左のグラフ参照)、南から北上して北海道に上陸するときには勢力が弱まって温帯低気圧になることが多いため、台風や落雷による災害の少ないまちです。

年間の雷日数

(1981年～2010年まで30年平均値)

都市名	雷日数	都市名	雷日数
札幌	8.8	大阪	16.2
仙台	9.3	高知	15.2
宇都宮	24.8	広島	14.9
東京	12.9	福岡	24.7
新潟	34.8	鹿児島	25.1
金沢	42.4	那覇	21.6
名古屋	16.6		

※気象庁のホームページより。

積雪・降雪

千歳市は、道内の中でも雪の降る量が少ないまちです。

降雪量は、日本海側に位置する札幌市や隣接する恵庭市の約50パーセント程度(左のグラフ参照)のため、道路に積雪のないことが多く、自動車は、比較的安心して走行できます。

また、除雪に必要な機械や作業員の経費など、費用の負担も少なく済みます。

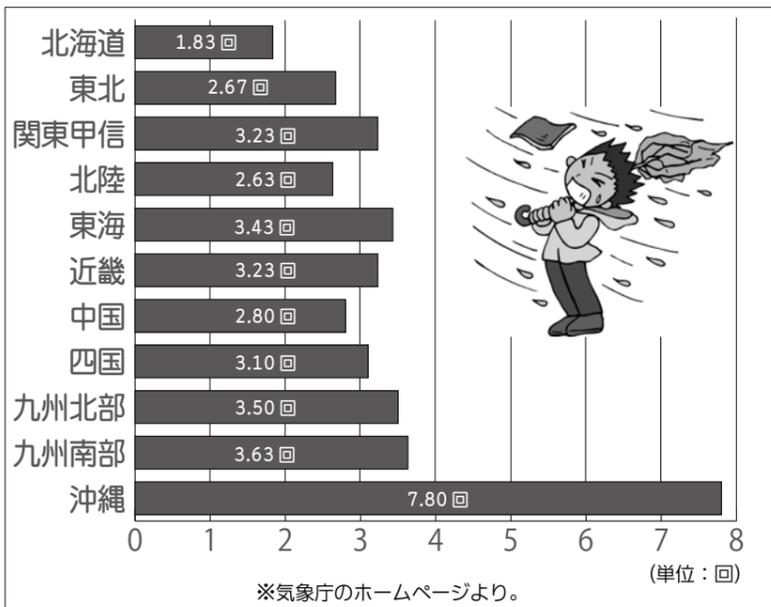
おわりに

千歳市は、高度技術産業が立地する工業都市であるとともに、自然環境が豊かで災害にも強く、働きやすく暮らしやすい北海道屈指の工業適地を有するまちです。

市には、企業の立地を促すため、初期投資の軽減制度のほか、千歳市や北海道などの各種助成金制度の利用、企業の要望にワンストップで対応する体制や立地後のアフターフォロー体制が整っており、これらの魅力を全国各地の企業の方にお知らせするため、さまざまなお取り組みを行っています。

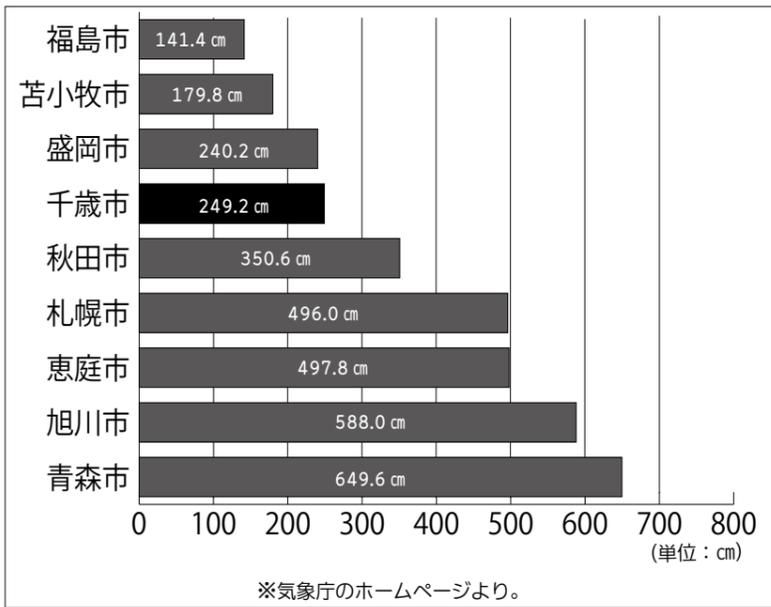
「活力があり発展を続ける千歳」を次の世代に引き継ぐため、千歳のセールスマンとして、皆様のご理解とご協力をお願いします。

過去30年間の台風平均接近回数 (1995年～2014年)



※気象庁のホームページより。

国内都市部の年間降雪量 (2010年～2014年平均)



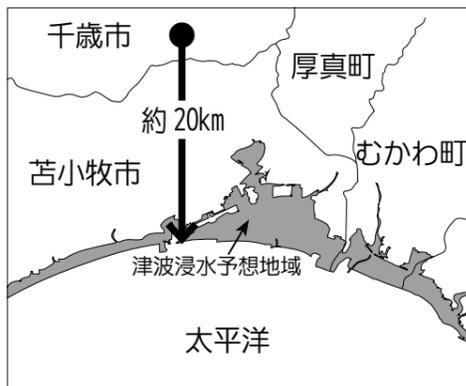
※気象庁のホームページより。

この記事のお問い合わせ

産業支援室
企業振興課 企業誘致係

☎(42)0522

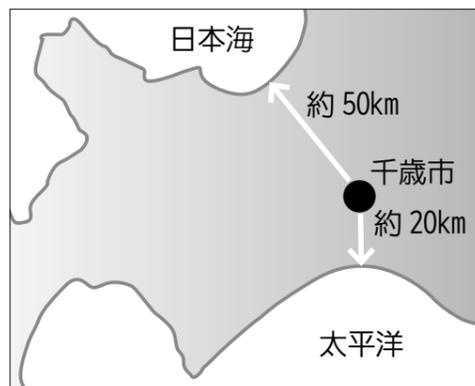
津波浸水予測図



【津波浸水予測図】北海道総務部危機対策局危機対策課

(注)2011年までに行われた津波堆積物の各種調査を踏まえて推定された最大クラスの津波による浸水域の想定図。自然現象を正確に想定できないこと、津波堆積物データの地域的偏りによる過大・過小評価があります。

千歳市から太平洋と日本海までの距離



津波

千歳市から一番近い太平洋側の海岸線(苫小牧市)まで約17km、25km、日本海側の海岸線(右狩市)まで約46km、55kmの距離にあります。また、市内工業団地の標高は約12m、70mあり、千歳市は、津波の心配がほとんどないまちです。